

家庭科学習指導案

学習者 附属小学校5年3組 33名
指導者 片山 裕子

題材名 整理・整とんで快適に

1. 題材の目標

- (1) 住まいの整理・整頓や清掃の必要性や仕方について理解しているとともに、適切にできる。
- (2) 住まいの整理・整頓、清掃の仕方や使う人、環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
- (3) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

2. 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 住まいの整理・整頓の仕方を理解しているとともに、適切にできる。 ② 環境に配慮した物の使い方について理解している。	① 整理・整頓の仕方について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫している。 ② 整理・整頓の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。	① 整理・整頓の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ② 整理・整頓の仕方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し、生活を工夫し実践しようとしている。

3. 指導と評価の計画（4時間）

時	ねらい（◆）と主な学習活動（○）	評価規準〈評価方法〉		
		知・技	思・判・表	主体
1	◆整理・整頓の仕方について、写真から問題点を考えたり、実際に校内の様子を調査したりすることを通して、問題を見出して課題を設定することができる。			
	○写真を見て、気付いた問題点と理由を話し合う。 ○校内の物品のしまい方を調査し、写真にとり、整理・整とんについてよい点を発表し合う。 ○教室内で整理・整頓した方が良い場所をグループで見つけ、写真を撮る。	・① 〈発言分析・記録分析〉	・① 〈発言分析・記録分析〉	

	<p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいに整頓されていると、すぐにものを取り出すことができると思った。物をなくさないためにも整頓することは大切だと思った。 ・同じ色や大きさで並べられていることに気付いた。 			
2 本 時	<p>◆整理・整頓の仕方について、生活をよりよくしようと、グループで改善すべきところを考え活動することを通して、工夫し実践することができる。</p> <p>○整理・整頓の手順を知り、グループで改善すべき方法を考える。 ○実際に実践する。(ビフォーアフターの写真を比べる)</p>		○① 〈行動分析・記録分析〉	・① 〈行動分析・記録分析〉
	<p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤ハーモニカの置き方は、同じ種類のをまとめた方が、きれいに見えるし、どこにあるかわかりやすい。 ・箱やシールを使って片付けると、見やすいし取り出しやすい。 ・種類ごとに分類すると、すっきりした見た目になり取り出しやすい。 			
3	<p>◆問題解決に向けた一連の活動について、タブレットにまとめたり実践を評価・改善したりすることを通して、考えたことを分かりやすく表現することができる。</p> <p>○前時に行った活動を発表する。 ○自分の家や部屋でも整理・整頓する場所はないか考える。 ○計画を立てる。</p>		○② 〈発言分析・記録分析〉	・① 〈行動分析・記録分析〉
	<p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家で○○をきれいにしたい。計画を立てたので、週末に整理整頓をがんばりたい。 ・整理整頓の方法が分かったので、次は、自分の部屋の片付けもチャレンジしてみたい。 			
4	<p>◆環境に配慮したものの使い方について、生活の中で不用になったものをごみにしないためにはどうすればよいか考えることを通して、理解するとともに、改善することができる。</p> <p>○家庭で取り組んだ整理・整頓を発表する。 ○不用になったものをごみにしないために</p>	・② 〈行動観察・記録分析〉		○② 〈行動分析・記録分析〉

	<p>はどうすればよいか考える。 ○物の整理・整頓の仕方や物の使い方に関して、これからの生活の中で環境へ配慮したいことを考え、まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビフォーアフターの写真を比べると、見た目がきれいなだけでなく、安全に過ごせるようになったように思う。 ・今までより、快適な教室になった。これからもきれいな状態をみんなで維持していきたい。 </div>			
--	--	--	--	--

7. 本時の指導 (2/4)

<p>本時のねらい</p> <p>評価規準</p> <p>具体的な児童の姿</p>	<p>整理・整頓の仕方について、生活をよりよくするために、整理・整頓の手順を知ったりグループで改善すべきところを考え活動したりすることを通して、工夫し実践することができる。</p> <p>整理・整頓の仕方について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫している。</p> <p>「大きさを揃えると、どこにあるか把握しやすい」「置く場所を決めると、自分のものをすぐに取り出すことができる」「出席番号順に並べると見つけやすい」</p>
---	--

時間	児童の活動	指導〇及び留意点・ ①評価〈方法〉※支援を要する児童への手立て	準備物
5分	1. 本時のめあてを確認する。	○前時の子どもたちが撮った写真を提示し、本時のめあてを提示する。	
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: fit-content;"> <p>めあて</p> <p>快適に過ごせる教室へ変身させよう</p> </div>			
5分	2. 整理・整頓の手順を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・快適の共通認識をする。(すぐに取り出せる どこにあるかすぐにわかる) 	
3分	3. 見通しをもち、計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ○事前に整理整頓したい場所を決めた場所(写真1)に、どのような整理整頓ができるか話し合い書き込む。 ・かごや空き箱、シールを用意し、自由に使ってもよいことを知らせる。 	かご 空き箱 丸シール 白表紙 等
17分	4. グループで整理・整頓をする。	<ul style="list-style-type: none"> ○実際にグループで、整理・整頓をする。 ・使用する人のことを考えた改善策になっている 	

<p>10 分</p>	<p>5. 工夫した点を発表する。</p>	<p>か考えるようにする。 ※何をしてよいか判断が難しいグループには、撮った写真の何が課題か尋ねる。その改善策を他メンバーに聞き、一緒に活動できるようにする。 ・整理・整頓が終わったら、写真2を撮り、ビフォーアフターの写真（1・2）をロイロノートで教師に送る。 ◎整理・整頓の仕方について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫している。〈行動分析・記録分析〉</p> <p>○送られてきたビフォーアフターの写真を紹介する。 ・他のグループで良いところを発表する。 ・自分のグループで工夫したところを発表する。</p>	
<p>5 分</p>	<p>6. 本時の振り返りを行う。</p>	<p>○めあてに対する振り返りや、実践して思ったことを書くようにする。</p>	